花巻市社会福祉協議会事務事業評価シート

（平成30年度事業）

事業名	総合福祉センター管理運営事業	事業開始年　度		所管課（所管事業所）	総務課
事業分類	□委託事業　■補助事業　□介護保険事業関係　□障害者自立支援事業関係　□自主事業（　　）				
地域福祉推進創造計画分類	□地域福祉推進部門　□在宅福祉推進部門　□障がい児・者福祉推進部門　■法人・事務局運営部門				
事務事業の目的・概要	市民の福祉活動の拠点施設として、ボランティア活動や各種福祉活動の更なる推進のため良好な管理運営を行っており、併せて本会本所及び石鳥谷、東和支所として地域福祉づくりの拠点となっている。 花巻、石鳥谷、東和の３センターを、広く福祉団体、市民団体等には無料で活用いただいているが、冷暖房代は実費負担としている。また、福祉関係団体以外にも活用いただいており、総合福祉センター管理運営規程により利用料を徴収しながら健全な管理運営に努めている。				
事業の対象者	福祉団体及び市民				
事業の指標（事業実績）件数・参加者数・利用数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	利用件数　1,457件 利用者数　30,474人	利用件数　1,138件 利用者数　34,797人	利用件数　973件 利用者数　31,955人	利用件数　1,648件 利用者数　30,900人	利用件数　1,516件 利用者数　30,150人
事業の成果及び課題等	市内福祉団体、市民活動団体等に広く活用されており、３センターを合せると毎年延べ３万人ほどの利用者数となっている。 平成29年度には、石鳥谷総合福祉センターでは、隣接していた交番跡地を花巻市から借用し、一般利用者用駐車場として整備した。また、花巻市総合福祉センターでは玄関整備・トイレの洋式化、東和総合福祉センターでは厨房食器等の整備を行うなど、利用者の利便性の向上、利用促進を図っている。 課題として、施設の耐震は基準を満たしているが３センター共に築30年以上経過し老朽化が見られる。修繕や付属設備の交換等を毎年行っているがかかる経費も増加傾向にはあるが、今後も修繕や付属設備の整備等計画的に進めながら、適切な管理運営に努めていく。 また、利用者数は減少傾向にあるものの、市内の他施設を有効に活用されている現状と捉えているので課題とは考えていないが、引き続き利用しやすい環境の整備とホームページ等を活用し利用者の増加を図って参りたい。				
事業の評価（事業の必要性・妥当性）※1	□　A　　■　B　　□　C　　□　D　　□　E　　□F				
評価のコメント	一定数の利用者がおり、地域に根差した福祉活動の拠点として無くてはならない施設となっているが、修繕や付属整備等の費用を含め計画的な環境整備が必要となっているのでB評価とした。				

※1　A…順調に推移（事業継続）　B…概ね順調に推移（事業継続）　C…順調に推移も事業内容の検討が必要(事業終了、見直しを含め2～3年で判断）
D…事業の抜本的な見直しが必要（事業継続するかを今年度中に判断）　E…事業の役割を終えた（事業終了）　F…その他